

平山郁夫シルクロード美術館 News

The Hirayama Ikuo

Silk Road Museum

News

No. 18

平成26年6月発行



平山郁夫《中亜熱帯図》

1971（昭和46）年 駒形十吉記念美術館蔵

1968年に平山夫妻が初めて訪れたアフガニスタンの地で出会った人々を描いた群像である。タイトルに使われている「閤（閤）」は、普段あまり見かけない字だが、辞書によれば「人が集まって賑やか」という意味なので、このタイトルの示すところは「中央アジアの熱い喧噪」ということになるのであろう。

画家本人が、当時の状況や絵に込めた想いを見事に記しているのので、以下に引用する。「メイン・ストリートから横町に入ると、市場がある。日本人には簡単になじめないような異国の匂いが漂っているのだが、そこに想像もつかないような太古から変わらぬ自然の有り様と人々の暮らしぶりが、生き生きと展開されている。…中略…アフガン人は独特のターバンを頭に巻き、髭をたくわえ、鋭い目の端正な顔が立派である。民族衣装がびたりと決まっている。…中略…狭い路地で、ある老人を立ったままで描き出した。人が集まり、警官が交通整理を始めた。眼、鼻、口と出来上がると、人々がどっと声を出す。モデルが絵をのぞき込むと、隣の男が動くなと注意し、顔を押しさえ込む。二人で口論が始まったが、周りの人々が子供のようにはやし立てる。雰囲気は何とも平和である。このように、バザールや広場の人々から取材して、「中亜熱帯図」を書いた。思い出の作品である（「平山郁夫全集 第5巻 シルクロード1」（講談社 1991年）より。）」



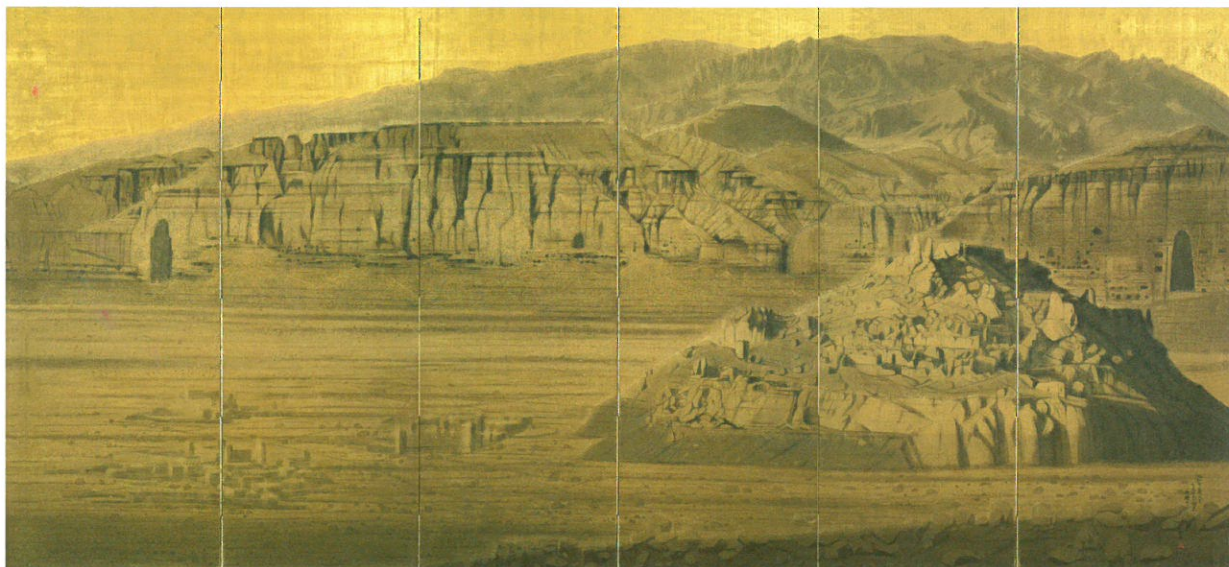
公益財団法人

平山郁夫シルクロード美術館

展覧会紹介 The Hirayama Ikuo Silk Road Museum Exhibition

開館10周年記念特別展

平山郁夫 シルクロード紀行 —ガンダーラ、アフガニスタン、そして文化財保護活動— 2014年6月28日(土)～10月6日(月)



《塵埃のトルキスタン遺跡》 1970年 6曲屏風 駒形十吉記念美術館蔵

1968(昭和43)年夏、平山郁夫は妻の美知子夫人と共に初めてシルクロードの旅に出発しました。旅の目的は日本美術の源流をたずねることにありました。若き日の平山夫妻は、インドのニューデリーから入り、パキスタンのガンダーラ地方を経て、アフガニスタンのパーミヤン遺跡を訪れ、ここからさらにウズベキスタンへと飛び、天山山脈をその目に焼き付けました。

当館開館10周年を記念する本展では、平山郁夫の人生を決定づけた1968年のアフガニスタン、パキスタンへのシルクロード旅行に焦点をあてながら、平山郁夫の絵画と、ガンダーラの仏教彫刻など当館所蔵の名品を展示します。そして日本国内に保護されているシルクロードの地からの流出文化財をご紹介します、画家として活躍する一方、文化財保護活動に身を投じた平山郁夫の業績を振り返ります。

(表紙の絵《中亞熱帯図》も同展にて公開)



1968年パーミヤンにて



ゼウスの神像左足断片 紀元前3世紀 流出文化財保護日本委員会保管

Information

- ◆会 期 2014年6月28日(土)～10月6日(月) ※会期中無休
- ◆開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ◆観 覧 料 一般1200円/高・大学生800円/小・中学生無料
※障害者手帳をお持ちの方無料、介護の方1名まで600円
※70歳以上の方、20名様以上の団体 各100円割引
- ◆主 催 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館、
山梨日日新聞社・山梨放送
- ◆後 援 山梨県、山梨県教育委員会、北杜市、北杜市教育委員会、
信濃毎日新聞社、八ヶ岳ジャーナル、NHK甲府放送局、
テレビ山梨、FM富士、FM八ヶ岳
- ◆協 賛 キリンビール株式会社

次回予告

10周年特別企画展(第2弾)
「いにしへのきらめき シルクロードの装身具」
2014年10月11日(土)～2015年3月16日(月)

これからのイベント

Information

平山郁夫シルクロード美術館は2004年7月17日に開館し、今年の夏にはおかげさまで10周年を迎えます。2014年は記念すべき節目の年として、開館10周年記念展をはじめコンサートやワークショップ、講演会などさまざまなイベントを予定しております。ご期待ください!!

●シンポジウム

「平山郁夫と文化財保護活動の現状」

日時:7月12日(土) 14:00開演

パネリスト:

前田耕作(アフガニスタン文化研究所所長)

宮治 昭(名古屋大学名誉教授)

後藤多聞(平山郁夫シルクロード美術館常務理事)

会場:平山郁夫シルクロード美術館2階ラウンジ

申込み不要・聴講無料(ただし入館券が必要です)

席は自由ですでお早めにお越し下さい。

開館10周年感謝デー[7.18]のお知らせ

当館は、2004年7月18日にスタートしました。この日を記念し、7月18日(金)は地元、北杜市の方を無料でご招待いたします。免許証など住所が確認できるものをご提示下さい。当日、学芸員によるギャラリートークを予定しております。詳しくはホームページをご覧ください。

ワイン&クラフトフェスタ 2014

2014年10月4日(土)、5日(日)

会場:平山郁夫シルクロード美術館 らくだ公園(屋上デッキ)

八ヶ岳地域のクラフト作家の作品の展示即売会や山梨地元ワインや葡萄の試食・販売、八ヶ岳のカレーや珈琲などをお楽しみいただけます。



●講演会

「館蔵コレクションに見るガンダーラ美術とシルクロードの文化」

日時:10月4日(土)14:00~

講師:田辺勝美氏(美術史家 平山郁夫シルクロード美術館評議員)

会場:美術館2階展示室6

入場無料(ただし入館券が必要です)



●コンサート

「揚琴演奏会~シルクロードの夢」

(シルクロードの伝統楽器による演奏)

日時:10月5日(日)13:00~、15:00~

演奏者:張林(チャン・リン)

会場:美術館2階展示室6

入場無料(ただし入館券が必要です)



同時開催

おらんうーたん合同企画「家」展

期間:2014年10月1日(水)~10月13日(月)※10/7休

会場:ギャラリー&ショップ 垂絲花

色々な素材で物作りをしている作り手が制作した家を展示します。

小さな置物から大きなものまでどんな家が並ぶのか、お楽しみに。

平山郁夫シルクロード美術館の開館に思ふ事

平山郁夫シルクロード美術館館長
平山美知子

2014年(平成26年)6月28日より公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館で「平山郁夫シルクロード紀行—ガンダーラ、アフガニスタン、そして文化財保護活動—」展がはじまるので、10年前の開館当初の平山郁夫との思い出を書いてほしいとの御依頼をうけ、年月のすぎ去る早さに驚くのと共に、今日迄美術館をささえて下さった方々に御礼を云う機会は今しかないと思っています。

1968年(昭和43年)のアフガン中央アジア旅行から46年、平山と私の海外旅行は殆ど毎年で、168回出国していたのです。その中には、奈良の薬師寺に玄奘三蔵法師の求法の旅2メートル×37メートル7面の作画の取材旅行といふ過酷とも云える旅もあり、その費用は平山の絵で賄はなければなりません。私も大好きな平山の絵は殆ど美術館や愛好家の方に買っていただいたので本物の平山の絵に会ふのはカタログが普通でした。平山はユネスコ親善大使で、フランス・パリのユネスコ本部へよく行きましたのでパリのオランジュリー美術館に「睡蓮」の絵があるのでよく見にゆきました。平山はシルクロードをよく旅するので西より東に文化・宗教を運ぶらくだの隊商の絵を「睡蓮」の絵のように並べて見たかったのでしょう。平山の絵は殆ど手もとに残っていないのですから、それが平山の夢だったのです。そんな大きな絵は描けたとしても鎌倉の家にはおいておけません。

平山の旅行は観光だけの旅行ではなく「世界の古代文明の大きさにふれよ」とおっしゃる立派な恩師が何人もおられ、平山はその教えを素直に受け入れる人だったと思います。そしてそれが平山を大きくしたのです。

中国では1979年(昭和54年)初めて中国の敦煌へゆき、常書鴻先生の敦煌石窟保存修復に対する熱意に感動したのです。それで1989年(平成元年)日本政府の竹下首相の訪中の際、敦煌石窟保存無償保存協力によって敦煌石窟文物保護研究陳列センターが出来ました。

1990年(平成2年)アメリカ・スミソニアンのフリーア美術館(スミソニアンには14の美術館があります)の日本古美術修復に協力。

1993年(平成5年)3月26日～4月3日オランダ・アムステルダム国立美術館、フランス・パリのギメ美術館見学。そして、アイルランドのダブリンでは美智子皇后陛下の御依頼で視察。

1994年(平成6年)9月23日～30日イギリス・ロンドン大英博物館で60畳のたたみ敷の東洋絵画修復施設開所式の参列。平山は版画を作成し此の費用にあてた。

中国ではその後、南京城壁修復、平山希望小学校7校設立、日本の大学の国際センターへの1年留学生17名招聘。

北朝鮮では、高広麗古墳を世界遺産登録に協力。

カンボジアでは、首都プノンペン芸術大学の校舎修理に協力。

アフガニスタンへは1968年の旅行ののち、2001年(平成13年)2月27日バミヤンの大仏破壊、その後2002年5月24日首都カブールの子供達小学校支援。

私は日本にいても毎日忙しく暮らしていました。アメリカ、ヨーロッパ、中国など海外旅行が多いのに、日本の地方旅行は殆どありませんでした。1996年(平成8年)平山の絵のモチーフとなるガンダーラ仏などの収蔵品の手伝いをしてくれていた山崎氏の案内で、娘や妹の家族と原村にゆこうとしたのですが、

雪で急な坂が登れず清里へゆく事になったのです。八ヶ岳の南面はからりと晴れていて、途中甲斐小泉で小さなログハウスの売り物があったのです。そのようなものは初めてだったので、見てみたいと思ひ、中へ入り、2階の窓から富士山が見えたので気に入りました。空気のよい集会所のつもりが周囲の売り地がふえ、ガンダーラ仏の倉庫のつもりが展示場に広がっていったのです。小さな展示場が美術館になり、グッドデザイン賞を得て、平山も気に入ったようです。この八ヶ岳の美術館が出来たので、平山はらくだの隊商の絵の昼と夜を次々に描いていったのです。フォロ・ロマーノもエフェソも描けました。

美術館が出来ても平山も私も山梨県には知人もいないし、全く未知の土地だったのです。

長坂町の小澤町長はその事をよく分かっておられ、適材適所の元小学校、中学校の校長先生を御紹介下さり、土地柄の事も人の事もよく分かり本当に有難い事でした。

2003年(平成15年)美術館は財団法人となりました。そして翌2004年の春には前年女性として、県議員をつとめておられた宮沢栄子先生が、何も分からぬ私のかわりに美術館の館長代理をつとめて下さり助かりましたが、2005年(平成17年)暮に体調を崩され入院され、平成18年(2006)3月6日に亡くなられ、本当に残念な事でした。

2004年5月7日(金)東京文化財研究所所長の渡辺先生がシルクロード研究所へ来て下さる事になりました。平山は美術館が出来てそれを立派に運営してゆくむつかしさをよく知っているので渡辺先生が

来て下さる事を心から望んでいたのです。

2004年7月17日(土)平山郁夫シルクロード美術館竣工式及び開幕式が行われ、文化庁河合隼雄長官、中国王毅大使、フランスのギメ美術館ジャリージュ館長、パキスタンのカムラン・ニース特命全権大使、山梨日日新聞 野口英一社長、小澤長坂町長のテープカットが行われ、午後は東儀秀樹コンサートで美術館はすっかりもり上がりました。

同10月24日は長坂町50周年記念が開町式になり、北杜市になりました。北杜市の白倉市長は美術館を応援してくださり美術館の役員会の評議員にもなって下さっています。

美術館の前が小海線の甲斐小泉駅で美術館と線路の間の土地が国鉄の資材置き場だったのを国鉄がうってくれるといふ話になり、2005年9月29日(木)その土地を入手する事が出来ました。美術館が大きくなれば平山の収蔵品を展示する事も出来ますが平山個人ではそんな資金はありません。2007年1500名の方々から4億の寄付をいただき、2008年(平成20年)7月12日平山郁夫シルクロード美術館リニューアルオープンしました。「平山郁夫と大なるシルクロード新館記念」としてNHKのインタビューを受けました。

2010年(平成22年)には公益財団法人となり、美術館の使命はより大きくなったのです。

この美術館へ来るのは東京から、他県から来るのは簡単な事ではありません。何度もゆきたくなる様な美術館、ショップ、レストランの充実といった工夫をみんなが考えてほしいのです。

今迄の御礼と共にこれからの10年の為に宜しくお願ひ致します。



新館開館式典での平山夫妻 2008年

開館から10年を振り返って

(参考) 1993年4月
1999年8月1日(日)～8月22日(日)

鎌倉に於いて「シルクロード研究所」を設立
八ヶ岳シルクロードミュージアム開館 プレオープン企画展「シルクロードの絹」展

2003年	11月5日(水)	財団法人 平山郁夫シルクロード美術館 設立 『平成の洛中洛外図(右隻)』再興第88回院展出品
2004年	7月18日(日) 12月2日(木) 4月10日(土)～5月31日(月) 7月18日(日)～11月29日(月)	美術館開館『開館記念特別展 平山郁夫の絵画とシルクロードの遺産』展 開催 『平成の洛中洛外図(左隻)』再興第89回院展出品 博物館法第10条に基づく登録博物館に認定 『シルクロードの土器・陶器』展 『開館記念特別展 平山郁夫の絵画とシルクロードの遺産』展
2005年	4月1日(金)～7月3日(日) 7月9日(土)～12月11日(日)	『小泉富士』 平山郁夫の連作「大シルクロードシリーズ」1作目 『シルクロード行くキャラバン(東・太陽)(西・月)』公開 『シルクロードの仏たち』展 『平山郁夫の絵画とアフガニスタンの至宝～流出文化財を守れ～』展
2006年	3月11日(土)～6月26日(月) 7月1日(土)～12月17日(日)	『神峰黄山雲海図』再興第91回院展出品 『煌めく布～金更紗と金糸織』展 『シルクロードのきらめき～正倉院文化の源流を尋ねて～』展
2007年	7月21日(土) 3月11日(日)～7月8日(日) 7月15日(日)～12月16日(日)	大シルクロード第四弾「アフガニスタンの砂漠を行く(日・月)」 秋篠宮文仁親王同妃両殿下ならびに眞子内親王妃殿下御視察 日印交流年記念企画『インドの染織～世界を翔た“ぬの”～』展 『シルクロードのガラス～時空を超えた魅惑の輝き～』展
2008年	7月13日(日) 3月9日(日)～6月1日(日) 6月4日(水)～7月6日(日) 7月13日(日)～12月15日(月)	新館開館(美術館増築) 『祈りの行進・聖地ルルド・フランス』再興第93回院展出品 『龍と鳳凰～中国染織の流れ～』展 『ウズベキスタンの陶器』展 新館完成記念『平山郁夫と大いなるシルクロード』展
2009年	5月27日(水) 7月4日(土) 12月2日(水) 3月8日(日)～6月28日(日) 7月5日(日)～平成22年3月14日(日)	第一回平山郁夫絵画教室 於キープ協会 地域ボランティア組織「いくみ会」設立 八ヶ岳の風 Start ギャラリー&ショップ垂糸花にて地域創作作家による作品展示 平山郁夫永眠 『豊饒なる色彩 ウズベキスタンの布と器』展 新館開館一周年記念『ガンダーラー仏像のふるさと』展
2010年	7月1日(木) 7月18日(日)～8月22日(日) 3月21日(日)～7月12日(月) 3月21日(日)～5月31日(月) 6月3日(木)～7月12日(月) 7月18日(日)～8月22日(日) 8月27日(金)～2011年3月27日(日) 8月27日(金)～2011年2月27日(日)	公益認定を取得し、「公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館」となる。 平城遷都1300年記念特別展「シルクロード～奈良への道 平山郁夫」展 『追悼 シルクロードの画家 平山郁夫～最期の風景～』展 『カシミールショール～変化するペイズリー文様』展 『所蔵品によるシルクロードの名品展 -インド・西アジア・中国を中心として-』展 『平城遷都1300年記念特別展「シルクロード～奈良への道 平山郁夫」』展 『栄光のペルシア』展 『追悼 平山郁夫～最期の風景～』パートII「平山郁夫とペルシア」展
2011年	5月21日(土) 3月4日(金)～5月30日(月) 3月4日(金)～6月27日(月) 6月3日(金)～10月24日(月) 5月28日(土)～11月21日(月) 10月29日(土)～2012年3月12日(月)	『神々のインドネシア～更紗・木彫・絵画』展に關連し、ガムランコンサート開催 『神々のインドネシア～更紗・木彫・絵画』展 『日本の風景』展 『平山郁夫文明の十字路を往く～最後のシルクロード・シリーズ』展 『若き日の足跡 平山郁夫テッサン』展 『古代メソポタミア文明～粘土板に見る古代の暮らし 人々はこうして生きてきた』展
2012年	3月16日(金)～6月25日(月) 4月28日(土) 3月16日(金)～6月25日(月) 3月16日(金)～6月25日(月) 6月29日(金)～11月5日(月) 6月29日(金)～11月5日(月) 11月8日(木)～2013年3月11日(月) 11月8日(木)～2013年3月11日(月)	企画展「世界遺産 高句麗古墳を描く～再現高句麗古墳壁画」 東京藝術大学講演会・シンポジウム「再現高句麗古墳壁画～創造と再生」 『平山郁夫 世界遺産 高句麗古墳を描く - 再現 高句麗古墳壁画 (高精細技術による古墳壁画の復元)』展 『東アジアの小さな仏たち』展 『回想 平山郁夫 -前編- 仏の道を求めて』展 『平山郁夫 中国の風景 - 日中国交正常化40周年記念企画-』展 『回想 平山郁夫 -後編- シルクロード 大いなる旅路』展 『敦煌を描く』展
2013年	10月5日(土)・6日(日) 10月5日(土) 3月16日(土)～6月23日(日) 3月16日(土)～6月23日(日) 6月28日(金)～11月11日(月) 11月16日(土)～2014年6月23日(月) 3月21日(金)～6月23日(月)	ワイン&クラフトフェスタ 青柳正規文化庁長官特別講演会「地中海世界のワイン文化」開催 『中国少数民族の染織～ミャオ族を中心に～』展 『絲綢之路の人々』展 富士の国やまなし国文祭提案事業『シルクロードの饗宴～葡萄とワインの文化をめぐって』展 『平山郁夫 日本の風景を描く』展 『シルクロードのコイン～王侯たちの肖像～』展

館外展《国内》

2007年9月4日(火)～10月21日(日)	『平山郁夫 祈りの旅路』展	東京国立近代美術館
2011年1月18日～3月6日	『仏教伝来の道 平山郁夫と文化財保護』展	東京国立博物館
2012年4月3日(火)～5月27日(日)	『平山郁夫シルクロードの軌跡 -人類の遺産にかけた画家の人生-』展	九州国立博物館(太宰府市)

《海外》

2007年3月27日(火)～5月19日(土)	『平山郁夫のシルクロード～東西文化の交流の跡を辿る～』展	クラーク日本美術・文化研究センター(アメリカ合衆国)
2008年4月18日(金)～4月26日(土)	『中日平和条約締結三十周年記念 平山郁夫芸術』展	中国美術館(北京)
2008年5月21日(水)～6月28日(土)	『日仏交流150周年 平山郁夫シルクロード展』	三越エトワール(パリ)
2010年8月5日(木)～10月3日(日)	『平山郁夫シルクロード日本画展-文明の十字路を往くトルコ-』展	ペラ美術館(トルコ/イスタンブール)
2012年10月4日(木)～11月9日(金)	『平山郁夫の足跡シルクロードと日本の美』展	青少年創造センター Palace of Youth Creativity(タシケント)
2012年11月26日(月)～2013年2月17日(日)	『シルクロードのガラス』展	韓国国立中央博物館

◆シルクロード研究会の報告

3月22日(土)、鎌倉にあるシルクロード研究所(薬師寺に奉納された「大唐西域壁画」をはじめ平山郁夫が数々の名作を世に送り出したアトリエ)にて第4回シルクロード研究会が開かれました。テーマはガンダーラの「化粧皿」と呼ばれる石製小皿について。ガンダーラ美術の権威である田辺勝美先生を迎え、そこに浮き彫りされたテーマは何か、本当の使用目的は何なのか、そして仏教との関係など専門的な講義を聞いたのち、当館所蔵の「化粧皿」22点を間近に見ながら解説と質問が繰り返され和やかなうちに終わりました。今後も様々なテーマで研究会を開催していきますので、HPを時々チェックしてみてください。



◆第5回絵手紙コンテスト 受賞者一覧

第5回絵手紙コンテスト

皆さまから275通のご応募をいただきました。平山美知子館長による審査の末19名の入賞が決まりました。おめでとうございます。入賞作品は6月28日～9月末まで2階ラウンジに展示しております。

◎最優秀賞(総部門)

岡部 芳子 愛媛県新居浜市

●大人の部

優秀 田中 智子 山梨県甲府市
 入選 三村 恵美子 兵庫県神戸市
 久野 弥生子 島根県出雲市
 西山 義雄 山梨県南都留郡
 特別賞 指吸 ますみ 山梨県北杜市
 安部 あけみ 熊本県熊本市
 小田 厚子 広島県広島市

●中高の部

優秀 富所 柚木(中2) 長野県安曇野市
 入選 三須 功輔(高1) 千葉県千葉市
 富所 莉伎(中2) 長野県安曇野市
 宮武 朋未(高1) 神奈川県海老名市
 特別賞 山田安衣香(中1) 山梨県甲斐市
 大纏 有葉(中2) 東京都大田区

●幼児・小学生部門

優秀 富所 大輝(小3) 長野県安曇野市
 入選 高橋 深月(保育園 年長組) 東京都杉並区
 加藤 花梨(小学生) 東京都世田谷区
 森 海人(小2) 東京都新宿区
 ●特別賞 田辺 璃空(小2) 神奈川県横浜市



新職員紹介

館長代理
井出 武男

井出武男先生が今年度より、館長代理をつとめて下さることになりました。「館長代理」は、かつて宮沢栄子先生もつとめて下さった役職で、平山美知子館長に代わって、山梨での美術館の活動を統括してまいります。井出先生はこれまで長坂中学校校長、北杜市郷土資料館館長、教育委員会教育長を歴任され、当館の顧問もして下さっていましたので、ご存じの方も多いと思います。隠れファンの方も少なくないのではないのでしょうか。井出先生、どうぞよろしくお願いいたします。

「平山郁夫 日本の風景を描く」展 関連企画



2月2日(日)11:00～11:50

「北杜高校ギター部 GUITAR CONCERT」

参加者:約212名

昨年度の全国ギター合奏コンクールで初の最優秀賞に輝いた北杜高校ギター部の1・2年生29名によるギター演奏会を開催しました。「2つの日本の風景」など展覧会にあわせ日本の楽曲を約1時間演奏していただきました。



○ワークショップ

3月1日(土)13:00～16:00

「簡単日本画ワークショップ」(一般向け)

講師:中沢明子 参加者:16名

「平山郁夫 日本の風景を描く」展に関連し、「簡単日本画ワークショップ」を開催しました。平山郁夫が「小泉富士」を描いた三分一湧水館の展望台で、日本画の技法に触れながら、思い思いの富士山を描きました。

「シルクロードのコイン-王侯たちの肖像-」展 関連企画



○ギャラリートーク

4月29日(火・祝)11:00～、14:00～

参加者:23人



○ワークショップ

5月5日(月・祝)10:00～12:00

13:30～16:00

「コインコースターをつくろう!」

講師:美術館スタッフ

参加者:9名



○スクールプログラム

○4月17日(木)甲陵中学校1年 40名

(展覧会見学・絵手紙)

○5月23日(金)敷島中学校2年 37名

(展覧会見学・ワークシート)

○6月5日(木)長坂小学校3年 69名

(展覧会見学)

○6月13日(金)亀戸中学校 100名

(展覧会見学)

2013年度ジュニア版鑑賞ワークシートが出来ました

小中学生向け折りたたみ式鑑賞ワークシート「シルクロード発見」が出来ました。写真とヒントを手がかりに美術館の中にあるお宝(収蔵品)を探すと、宝探し形式で楽しく学ぶ事が出来ます。美術館入り口にて無料配布しております。受付にお声掛け下さい。



開館カレンダー

7 July							8 August							9 September						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5						1	2		1	2	3	4	5	6
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
27	28	29	30	31			24 31	25	26	27	28	29	30	28	29	30				

10 October							11 November							12 December						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4							1		1	2	3	4	5	6
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30	31		23 30	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			

6/28~10/6 「平山郁夫シルクロード紀行ーガンダーラ、アフガニスタン、そして文化財保護活動ー」展
 10/11~3/16 「いにしへのきらめき シルクロードの装身具」展

※7~9月は無休
 ※10/7~10/10は展示替えのため休館
 ※12/23は開館
 ※12/24~12/31は冬季休館
 ●…は閉館日です

賛助会 だより

賛助会会員募集 2015年 賛助会は 10周年を迎えます。

賛助会は美術館の活動を支援するとともに、会員の皆様の交流をはかることを目的として発足いたしました。皆様から寄せられました会費は、展覧会の開催、講演会・講座の開催、国際交流、美術館の維持管理などに使用させていただきます。賛助会員にはさまざまな特典（詳しくは美術館HPをご覧ください）のほか、交歓会等イベントも予定しております。皆様のご入会を心よりお待ち申し上げます。

- ◆会費 個人会員…… 10,000円
 家族会員…… 15,000円
 法人会員……100,000円
- ◆受付期間 随時受け付け（毎年7月に更新。12~3月までにご入会の方は初年度の年会費は半額、4~6月ご入会の方は翌年6月末日まで有効）。
- ◆申込方法 申込用紙に必要事項をご記入のうえ美術館にご郵送いただき、所定の銀行口座に会費をお振り込みください。申込用紙ご希望の方は、美術館HPからダウンロードするか、美術館にご請求ください。

お知らせ

公式facebookページをはじめました！

美術館でのイベント情報や日々の出来事などアップしております。アカウントをお持ちでない方も閲覧していただく事ができますので、是非ご覧ください。

〈facebookページURL〉
<https://www.facebook.com/silkroadmuseum>
 〈ユーザー名〉平山郁夫シルクロード美術館

